

げんねん地域大使の活動

【げんねん地域大使の概要】

当社は、地域の皆さまから信頼いただけるよう、「伝える」ではなく「伝わる」コミュニケーションを実践することが重要と考え、2020年に「げんねん地域大使」の活動を開始し、今年で5年目を迎えました。

地元出身者が多いという当社の特性を活かして、六ヶ所村で生まれ育った社員や、スポーツ・文化活動など、各地域の様々な活動に参加している社員を「大使」として任命し、地域の皆さまの声を聴き、当社の状況を自らの言葉で発信したり、皆さまの要望や懸念を社内に共有する「地域と当社の架け橋」としての役割を担っています。



2024年度げんねん地域大使

【げんねん地域大使の活動状況】

2024年度は26名の方を大使に任命し、4月から活動をスタートしました。日頃から交流のある漁業や酪農に携わる方々に当社の情報を発信する、清掃活動などの地域行事に参加してご意見をいただく、野球やサッカーなど子供たちへのスポーツの指導を通じて、次世代層に当社やエネルギーに興味を持ってもらうなど、様々な活動を行っています。

轟大使



新型コロナウイルスが落ち着き、地元の方々と交流する機会が増えました。「安全第一で頑張る」といった激励の言葉に元気をもらっています。

とどろき 轟 もも (安全・品質本部)

立花大使



消防団の活動や地域イベントで、地元の方々と交流していくうちに、自分が大使であることを知っている方が年々増え、気軽に意見をもらえるようになりました。

たちばな せいし 立花 征士 (再処理事業部)

大塚大使



週4回、小学生へ野球の指導をしています。練習や試合で出来ることが1つずつ増え、選手たちが日々成長していることを嬉しく思っています。

おおつか たく 大塚 拓 (技術本部)

小泉大使



地元の方々が私のことを大使として紹介してくれるので、広く認知されるようになったと感じています。何かあれば一番に相談してもらえる存在になりたいです。

こいずみ はるかず 小泉 春和 (再処理事業部)

山田大使



長年、地元の方々と接してきていますが、当社を応援してくれる方が増えてきていると感じています。今後も、良好な関係を築いていきたいです。

やまだ りょういち 山田 凌一 (再処理事業部)

諏訪内大使



今年から大使としての活動を開始しました。サッカーチームのサポートを通じて、小中学生や保護者の皆さんと交流を深め、当社事業をPRしていきます。

すわなひ ひかる 諏訪内 光 (埋設事業部)

引き続き、げんねん地域大使の活動を積み重ね、当社事業を支えていただいている地域の皆さまへの感謝の気持ちを忘れることなく、地域と共に成長する日本原燃を目指してまいります。